



私が取材を担当しました

市民リポーター紹介 古賀 美穂 さん

介護施設に勤務しながら、看護学校に通っています。9歳の子ども（男）がいて、仕事も勉強も子育ても大忙しです。毎日バタバタの生活ですが、同じく子育て中で、自分と環境が違う人たちは、どんなふうに生活しているのかに興味があり、市民リポーターにチャレンジしました。



特集

ワーク・ライフ・バランスって？

● 問合先

▷男女協働推進課男女協働推進係 (☎232115)

『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を知っていますか。日本語に訳すと、『仕事と生活の調和』です。

『仕事』は暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらします。同時に、家事や育児、趣味や地域行事への参加などの『生活』も、暮らしには欠かせないもの。両方が充実してこそ、人生の喜びや生きがいも増すのではないのでしょうか。

しかし、現実の社会では、仕事と子育てや親の介護の両立に悩む人や、仕事に追われ、心身が疲労している人も、多く見られるようです。

今回の特集で取材を担当したのは、市内在住で、仕事にも子育てにも奮闘中の古賀美穂さん。同世代で子育て中のパパ・ママや、伊万里に移住して新しいスタイルの働き方をしている夫妻などの話を聞き、さまざまな立場の人の、ワーク・ライフ・バランスに対する考え方などについてレポートします。

仕事と生活の調和をどのように保つかは人それぞれ。皆さんも、ワーク・ライフ・バランスについて、一緒に考えてみませんか。



子育て世代に聞きました(座談会)

仕事も、家庭生活も、自分の趣味や好きなことも、みんな充実させるというのは口で言うほど簡単ではないですよ。特に子育て中の女性は、自分の自由になる時間なんてほとんどないのでは。

そこで、子育て中のお父さんやお母さんに、実のところはどうなのか、苦労話やおもしろいエピソードなどを交えながら、本音で語り合ってもらいました。

家事や育児の分担は？

◇古賀 リョウさんのところは二人目が生まれたばかりですが、家事や育児はどうしていますか。

♠リョウ そうですね。上の子どもを寝かしつけながら妻も一緒に寝てしまったり、妻もかなり疲れている様子なので、僕が食器を洗ったり洗濯物を干したり

しますよ。

♣コウイチ わあすごい！理想的ですね。

♥ユキ うちも夫婦でやらなないと回らないですよ。夫の帰りは遅く、私は子どもたちと先に寝ていることが多いです。夫は帰ってから、食器洗いや翌日のご飯のセツトなどをしてしてくれます。

♣コウイチ すごいですね。

座談会の参加者

古賀 美穂さん (30代女性)
(市民リポーター)

・介護施設に勤務しながら看護学校に通学中
・子：9歳(男)

♥ユキさん (40代女性)

・公務員、共働き
・子：5歳(男)、2歳(男)

♠リョウさん (30代男性)

・介護施設勤務(相談員)、共働き
・子：2歳(女)、0歳(男)

◆マキさん (40代女性)

・家族で農業を経営
・子：10歳(男)、7歳(男)、6歳(男)

♣コウイチさん (30代男性)

・病院勤務(事務長)、共働き
・子：7歳(男)、4歳(男)、1歳(男)



最初は少し緊張していた皆さんですが、すぐに打ち解けて笑いの絶えない座談会になりました。

私もやらないといけないなと思うんですけど、なかなかね。どうやっていいかわからないし。

◆マキ うちもいろいろやってももらいますけど、逆に夫は私に何かをしてほしいって言わない人で。私はもつと喋ってほしいんですけど。言わないからいいの

◇古賀 それだと妻から何か手伝ってほしいと言いつづかないですか。

◆マキ いや言いますね(笑)。

家事の時短術は？

◇古賀 コウイチさんのところ以外は家事を分担されているようですが、家事のコツや時短の方法などありますか。

♥ユキ うち洗濯はランドリー頼みなんです。洗濯物をたたむサービスがあるランドリー。朝持って行って、帰りに持って帰って引き出しに入れるだけです。

♣コウイチ へえ、そういうのあるんだ。知らなかった。

♥ユキ あとは、子どもたちがいろいろできるよ。最初がかるけど、夫に早く帰って

来てほしいと無理なことを考えるよりも、子どもたちが早いので(笑)。上の子はウインナーが炒められます。下の子もシメジをばらしたりしてくれますよ。お風呂も2人で洗いっこする練習をして、お兄ちゃんが弟のできないところを手伝ってくれるようになったので、私も少しゆつくり入れるようになりました。

◇古賀 すごいですね。まだ5歳と2歳ですよ。

♣コウイチ うちなんか風呂上がりは3人とも裸で走り回ってますよ(笑)。

休みは取れますか？

◇古賀 子どもが病気になったとき、仕事を休めますか。流行の病気で長期間かかる場合もあると思いますが。

♣コウイチ 私が休めるときには休んで、あとは母や妻が交代で看病ですね。でも、私もなかなか休めなくて。

♥ユキ 職場に行ったら家庭のことはなかなか言いつらいですよ。私自身も職場では『誰かのお母さん』ではなく、『私』として責任を持って仕事をしているので。

◇古賀 リヨウさんは育児休業を取得されているんですよね。休みにくくはなかったですか。

◆リヨウ 職場や同僚には迷惑をかけると思いますが思い切って取得しました。確かに男性が育児休業を取りにくい雰囲気は、まだまだあると思いますが、家族が一番大切なので、仕事も家庭も両立したいと思っています。でも現実問題として、誰もが長期に休めるわけじゃないですよ。私は有給も少し入れて2週間くらいです。

♣️コウイチ 会社の中で男性の育児休業の実績があったら、他の人も取得しやすくなりますよね。

♥️ユキ 子育てだけじゃなくて例えば介護だったり、みんないるんな環境を抱えて仕事をしているので、お互いの立場を想像して理解するということふうになったらいなと思いますね。

リフレッシュユキな？

◇古賀 皆さんかなり忙しいんですけど、リフレッシュはできますか。

すけど、一人になれる時間を作ることも大事だと思います。夫が時々子どもを連れて出かけてくれるので、その時に少し自分の時間ができますね。

◆リヨウ 私はバスケをやっている、週に2、3回練習があるんですけど、子どもを連れて行くんですけど、その間、妻は一人になれるので、少しゆつくりできてたんじゃないかな。私自身は家族と一緒にいるのが一番好きなので、一人になりたいと思うことはないですね。

◇古賀 コウイチさんは一人になりたいときはないですか。

♣️コウイチ ああ、もういつも思ってます(笑)。「休日自分の時間を」と思っているけど、結局は家のことや子どもたちのこと、あつという間に終わってしまいますね。

◇古賀 ご主人のご両親と同じ居られますが、マキさんはどうですか。

◆マキ 私は配達など外回りをしますので、仕事中心ですが、運転したり人と会って話をしたりすることが気分転換になります。農家の仕



それぞれに子育ての環境は違いますが、共感できるところがたくさんあったようです。

事はやることがあり過ぎて、思い切って「今日は休む」と決めないと休めないですね。

◇古賀 私はたまの休みに買い物に行ったりするけど、子どもと一緒にだと、本当に買い物を楽しむということはできませんよね。

♣️コウイチ そうですよ。妻にゆつくり買い物をしてもらうために連れて行っても、子どもと一緒にだとゲームがしたいとか、ああだこうだで、しまいには一番下の子が泣き出したりして、結局夫婦でてんやわんやですよ。リフレッシュになっていないですよ。

◇古賀 でも、ちゃんと奥さんのことも考えられているんですね(笑)。

ワーク・ライフ・バランスのために

◇古賀 では、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、どうしたらいいと思いますか。一人ずつ聞かせてください。

◆リヨウ 妻がしていることを自分がちよつとでもすることで、こんなに大変なかとか、こんな気持ちにな

るのかとか、理解できると思うんです。「お互いに理解し合えるというのが出発点」かなと思います。

◇古賀 理解しようとする行動力がすごいですよ。

◆マキ そうさせる奥さんってどんな人なんですか(笑)。いや、私もそうだろうと思つて(笑)。

♥️ユキ 私は、「無理はしない。できることをちよつとずつやる」です。自分一人できないなら、夫に相談したりママ友を頼ったりします。頑張り過ぎないことですね。

♣️コウイチ 私も一緒です。「頼れるところは頼る」。それと、妻も働いてるんで、やはり妻の仕事のことも理解しなくちゃいけないなと思つています。

◆マキ 私は、今まで夫にあってこれしてとちよつと、言い過ぎていたと思うので、「夫に言い過ぎない」です。

♣️コウイチ それは言ってもいいんじゃないですか(笑)。

◆マキ いや、指示するのではなく、自分で考えて、やってもらう方がいいかと。でもまあ、分からずさんかなあ(笑)。

子育てファミリー・サポート

子育てファミリー・サポートは、子育ての手伝いをする人（提供会員）と子育ての手伝いをして欲しい人（依頼会員）との相互援助活動を行う会員組織です。

こんなとき利用できます。

☆就労や産前産後などで、保育施設への送迎ができないとき。

☆保育施設での保育開始前、または終了後の育児ができないとき。

☆小学校での始業前、

または放課後の育児

ができないとき

など



利用料など詳しくは

子育て支援センター (☎ 23 5 1 9 7)

先進事業所の紹介

株式会社 伊万里鉄工所

～男性も育児休業を取得しています～

当社は、今年で会社設立 75 年を迎える地元のものづくり企業です。従業員は 84 名（男性 80 名、女性 4 名）です。

従業員の男女比率は圧倒的に男性の方が高いのですが、平成 28 年度に女性工員 2 名（ゲンバ女子）を採用し、安心して女性が働ける環境づくりに取り組んでいます。

今後も計画的に『ゲンバ女子』の採用を推進したいと思います。

社会全体を見ると、男性の育児休業の取得率は依然として低いようです。当社においても高いとは言えませんが、ここ 1 年で 2 名の男性社員が育児休業を取得しました。若い共働きや子育て世代の従業員も多いので、今後も取得希望者が出てくると予想しています。

若年労働者の活躍なしに会社の成長はありえませんので、今後も社員のワーク・ライフ・バランスの実現のために、育児休業が取りやすい環境づくりに努めます。



総務課の皆さん



岩楯さん夫妻にインタビュー

読者の皆さんの職業は、サラリーマンだったり農家だったりさまざまだと思います。ここでは『ライター』と『イラストレーター』という、伊万里市では少し珍しいお仕事をしている岩楯さんご夫妻に、ちよつと新しい働き方について、お話を伺いました。

◇古賀 伊万里に移住しようと思っただけは何ですか。

◇忠介さん 田舎暮らしをしたという気持ちがあつて、最初は東京近郊も考えたのですが、やはり縁のあるところがいいと思い、妻の実家がある伊万里に決めました。

◇古賀 どういうお仕事をしていますか。

◇忠介さん 私はライターです。佐賀県では、あまり耳慣れない仕事だと思っています。例えば、ある企業の広報誌の一部分を任せてもらったりとか、WEBページの会社紹介を書かせてもらったりとか幅広くやっています。今のところは東京の方の仕事がほとんどで、佐賀県でも仕事として成り立つようになっているのが今後の課題ですね。

◇愛久美さん 私はイラストを書いています。今はツイッターで情報発信をして、多く

の人に認知してもらおうように頑張っているところです。

◇古賀 伊万里で仕事をする上で困ったことはありませんか。

◇忠介さん 特に困ったことはないですね。仕事が必要があればすぐにでも東京に行くようにしていますが、そういう働き方を選んでますので、それを不便とは思いません。ただ、時間の使い方は今の方が工夫をしていますね。そういつもいつも東京に行くわけではないので。



↑今後の抱負を語る岩楯忠介さん（左）と愛久美さん

インタビューの相手

岩楯 忠介さん、岩楯 愛久美さん夫妻

- ・東京から伊万里に移住
- ・忠介さんはライター、愛久美さんはイラストレーター
- ・佐賀県の情報をツイッターで発信（『すごいよ佐賀県』）
- ・2人の娘を子育て中

◇古賀 子育て中ですが、ワーク・ライフ・バランスは取れていますか。

◇愛久美さん 夫も私も、時間の使い方は工夫次第なので、今のところはうまくいっていると思います。

◇古賀 これからの夢を聞かせてください。

◇忠介さん 求人メディアを立ち上げたいと思っています。佐賀県は仕事があつて人材が不足しているのに、求人情報の発信力が弱いんですね。企業などが困っている部分を、文章の力で手助けするのが自分の仕事だと思います。

◇愛久美さん そこにイラストで関わってあげたいですね。一瞬で分かってもらえるところが、イラストの大きな魅力です。



相手の立場を理解し合える社会へ

座談会に参加した皆さんは、かなり苦勞して仕事や家事、育児をしているようでした。なんとかこなせていても、仕事と生活を『調和させる』というのはなかなか難しいことなのです。一方で、現実的にパートナーの理解や周囲の協力があるということも分かりました。また、岩楯さん

夫妻のように、東京から移住し、新しいスタイルの働き方をしていく人もいます。これから、ワーク・ライフ・バランスへの理解や働き方改革などもっと進み、子育てのステージだけでなく、あらゆる場面で、お互いが相手の立場を理解し、尊重し合えるような社会になればいいですね。

レポートを終えて

今回、市民リポーターとして、いろいろな家族構成を持つ同世代の人たちと交流する機会を頂きました。小さい子どもがいて、夫婦共に仕事をしている皆さんは、共通して、悩みの種も喜びの種も子どものことが大半を占めているようでした。

しかし、活用できる地域の情報などを知る機会が少ないのも現実。岩楯さんのように情報発信力のある方と一緒に、伊万里をもっと住みよい街にできればと思います。

子どもが病気をしても、なかなか仕事を休めないお母さんが増えてきている中、お父さんが仕事を休める環境は、以前に比べて整ってきたように思えます。どちらか一方が、というスタンスではなく、お互いに思いやって、一緒に家族の笑顔を作っていけることは、とても幸せなことだと思います。



市民リポーター
古賀 美穂 さん

♪ 親子で楽しく ♪

育児シェア体験教室 ～パパも育児に参加しよう～

【第1回】 11月23日 (木・祝)

子どもの遊びシェア教室

時間 午前10時～正午
場所 立花公民館
対象 年中から年長児とその保護者
定員 15組程度

【第2回】 11月26日 (日)

子どもの健康管理シェア教室

時間 午前10時～正午
場所 立花公民館
対象 小学生までの子どもとその保護者
定員 15組程度

※ 第1回、第2回共に一時保育があります。各教室の開催の1週間前までに申し込んでください。

パパと子どもは… 〈午前10時～11時15分〉

『親子で仲良く！楽しく！遊ぼう♪』

講師 佐賀のこういちお兄さん
堤 公一さん
(佐賀大学教職大学院准教授)

パパと子どもは… 〈午前10時～11時15分〉

『親子で学ぶお口ケア』

～子どもが歯みがき好きになるコツと
成長に合わせた仕上げみがきのコツ～
講師 舩元 康浩さん(歯学博士)

ママは… 〈午前10時～11時15分〉

『ココロに届くアロマスプレー作り』

講師 上中 梓乃さん(アロマセラピスト、
ストレスケアカウンセラー)

参加料 300円

★作ったアロマスプレーは持ち帰れます★

ママは… 〈午前10時～11時15分〉

『お腹とお肌のイキイキ教室』

～ハンドパックでリフレッシュ～
講師 塩濱 美晴さん・宮本めぐみさん
(佐賀県ヤクルト販売株式会社)

最後はみんなで… 〈午前11時15分～45分〉

『ぐっすり絵本(寝かしつけ絵本)の紹介』
～穏やかな眠りのための入眠儀式のアドバイス～

講師 市民図書館の司書 ほか

最後はみんなで… 〈午前11時15分～45分〉

『応急手当教室』

～子どもの病気やケガを
おうちで手当てする方法～

講師 保健師